

施策：	12	セーフティネットの推進	財務コード	01070601-01-00
基本事業：	05	市営住宅の維持管理	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	市営住宅に関する事故件数 市営住宅料金徴収率		担当課	管財課
			担当係	管財担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
管財課所管の住宅の維持・管理			入居者が安全で快適に生活できるように周辺環境も含めた保守・点検・整備を行うと共に、入退去の管理、住宅使用料の徴収等を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
(対象) 管財課所管の住宅の維持・管理									
(目的) 安全で快適な状態で居住者が生活できるような環境の整備									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
収納率		%	90.5	97.07	90.9	97			
5. コスト									
事業費		計	千円	3,007	3,325	3,689	6,150		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円	3,007	3,325	3,689	6,150		
一般	千円		0	0	0				
正職員人工数		人工	1	1	1	1			
正職員人件費		千円	8,065	8,029	7,921				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	11,072	11,354	11,610	6,150			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<ul style="list-style-type: none"> ・使用料の収納率向上を図るため、入居者に対して口座振替を推進しており、昨年度と比較すると105世帯から107世帯と微増となった。 また、新規入居者に対しては入居説明会等で、納め忘れのないように口座振替を勧めている。 ・現年度徴収率について97%超となり目標を大きく上回った。引き続き令和2年度の手法を踏襲しつつ、特に現年度の納付遅れがないように注力し入居者の納付意識の向上を図っていく。 							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
市営住宅における効率的な住環境整備を行う			「家賃算定」「滞納者リスト作成」「督促状/催告書出力」「交渉履歴管理」「分納登録」「納付書再発行」など個別でデータ管理していたため、入力ミス等があり収納滞納管理業務に時間を要している状況である。そのため、引き続き住宅管理システム導入の要望を行い事務の効率化を進める。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
入居者の高齢化、単身化が顕著となっている。 （令和3年3月31日現在） 入居戸数 265戸 / 334戸 保護世帯数 …… 55世帯 65歳以上の世帯割合 …… 60.8%									